

有東遺跡発掘調査速報

report+ vol. final

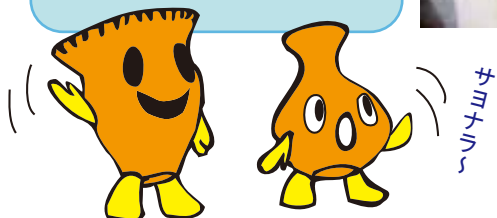
※「SUT」は「有東遺跡」の調査略号です。

1・サヨナラ 有東遺跡

こんにちは、財団法人
静岡県埋蔵文化財調査
研究所です。
8月から始まった有東
遺跡の発掘調査は、11
月15日をもってついに
終了となりました。
調査終了後、さっそく
調査区の埋め戻しが始
まりました。
貴重な古代の情報を提
供してくれた、遺跡の
最後の姿を感謝と感慨を
もってお見送りください。



新しい土を運びこみ、埋め戻しを始めた調査区(11月16日)



土をぎっしり詰めて



アスファルトを敷いて



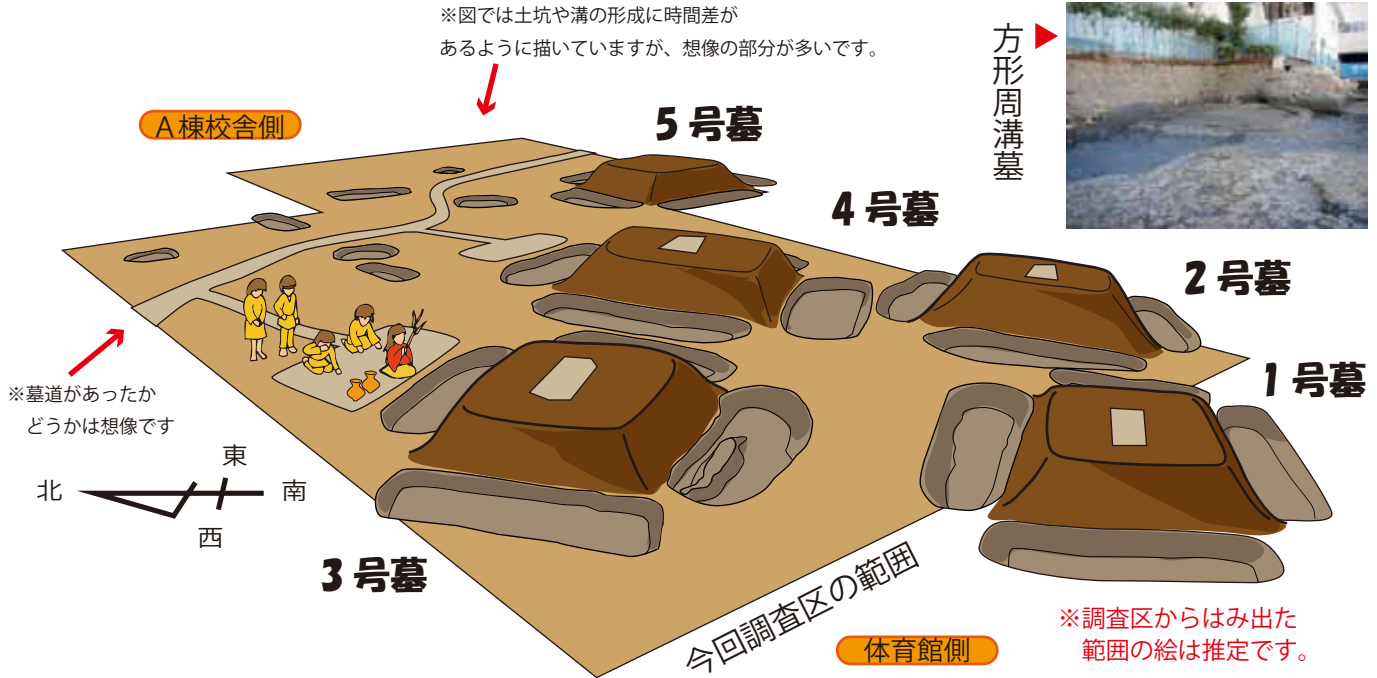
12月2日、埋め戻し完了!!
発掘現場があったとは想像できないほど、すっかり元の駐車場に戻りました。

2. 調査の成果・時系列ダイジェスト

今回の調査で得られた情報から、市立商業高校付近の弥生時代の様子を（若干想像も含めて）再現してみました。学校ができる前のはるか大昔にあった出来事の一部始終をご紹介します。

①墓地の形成（弥生時代中期後半）

約2000年前、市商付近は緩やかな微高地となっており、その上に方形周溝墓の群が形成されました。若干ばらつきはありますが、墓はおおよそ東西に整列して築造されたようです。調査区では5基見つかりました。



②方形周溝墓・荒廃す（弥生時代中期末頃？）

戦争や災害・村の移転など様々な要因が考えられますが、何らかの理由で集団墓地は管理されなくなり、次第に荒廃、地中に埋まっていき、周辺には溝や何かの土坑など、墓とは関係のない人々の生活痕跡が調査区東側で多く見られるようになります（注1）。



注1) 以前ご紹介したように調査区東側では沢山の溝や土坑が見つかりました。しかしそれら全てが周溝墓の築造後に作られたものなのか、或いは周溝墓と同時期のものと、後から作られたものとが両方ある状態なのか、現在分析中で判断できていません。

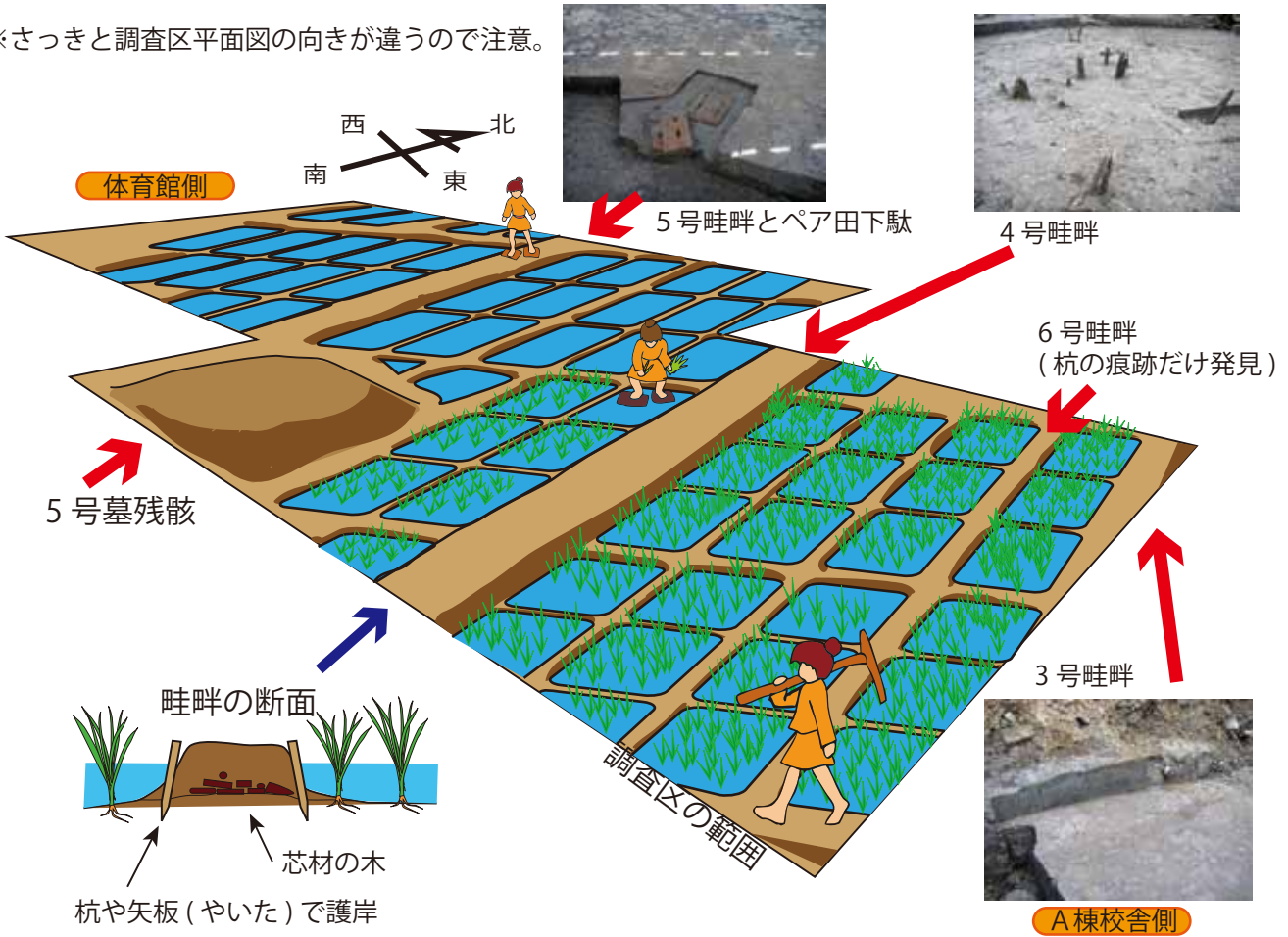
また、東側で方形周溝墓が造られなかった理由も結局よく判りませんでした。ただ、西側に比べて地面がやや攪拌され、剥片状石器の出土があったことから、想像の範囲ですが畑などの耕作地が広がっていたのかもしれない。

③最初の水田化（弥生後期～古墳時代前期）

墓が造られたころ丘だった地形も、時代が過ぎると平地化し、有東遺跡も水田になりました。しかし方形周溝墓5号墓だけは、墳丘が高かったのか、僅かな高まりとして残存し、しばらくは水田化していませんでした。

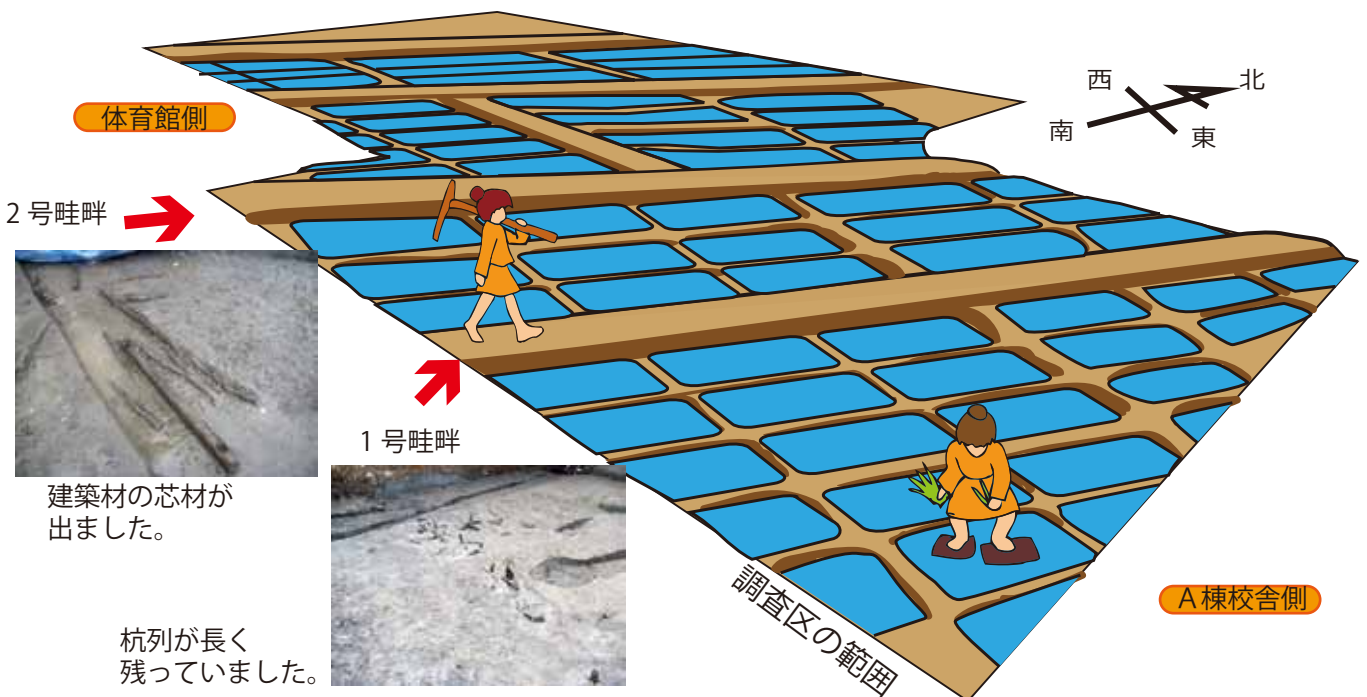
この水田の畔道（5号畦畔）から、田下駄が番（つがい）で出土したことは印象的でした。

※さっきと調査区平面図の向きが違うので注意。



④もう一面の水田（古墳時代後期）

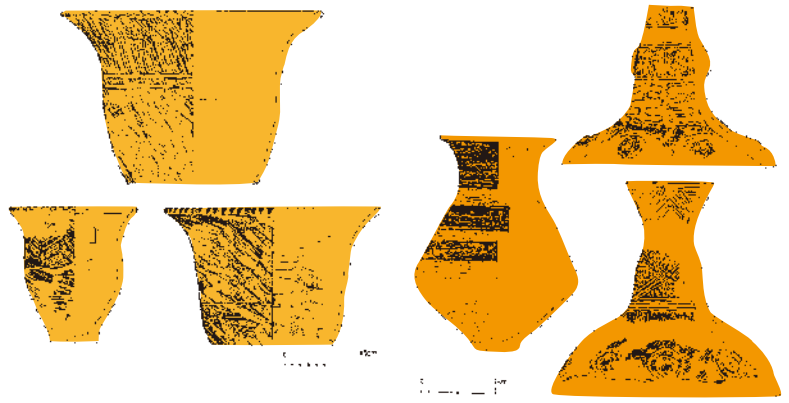
水田遺構は、実は2時期分ありました。1号・2号水田は明らかに他4つの畦畔と向きが異なり、また発見された高さ（検出面）と層位が異なっていたため、古墳時代前期と後期で、向きの異なる2時期の水田があり、これらが同時に検出されたことが判りました。このころになるとすでに方形周溝墓5号墓は埋没（または削平）し、上部に2号畦畔が乗るように造られていて、すっかりあたりは田んぼになったようです。



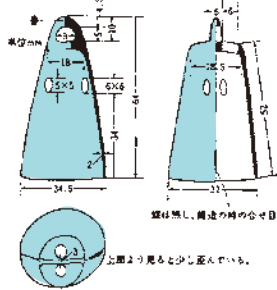
3. 発掘調査の成果（筆者の感想）

水田跡と、方形周溝墓群は過去の校庭内での発掘調査（体育館下とA棟校舎）でも発見されていました。今回は、過去の調査区の間にあたり、より全体的な遺跡の様子を明らかにできたので、大きな成果と言えるでしょう。

ただ、土器や石器などの遺物の量がやや少なめで、もっと目に見える形で成果を生徒の皆さん、先生方にお見せ出来なかったのは、ちょっと残念でしたね。やはり墓域と水田と言う、集落以外の場所と言う性質上、生活用具があまり入ってこなかったのかもしれません。



▲ 第16次調査出土の土器（静岡市教委 1997より）



◀ 1947年発見の小銅鐸（大場 1970より）

これらのような立派な姿の遺物が出土しないかと期待しましたが、ちょっとおよびませんでした（汗）。

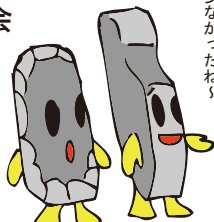
参考文献
静岡市教育委員会 1997 『有東遺跡第16次発掘調査報告書』
大場磐雄 1970 『登呂と山木 - 農耕生活の発展』
『古代の日本 6 巻中部』 角川書店

遺物の反省会



金属器
(出土せず)

出番なし…

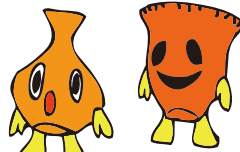


打製石器 磨製石器

石器たち

出番少なかったね

オレら結構出たんだけどさ～
粉々なよね～。



壺型土器 甕型土器

土器たち

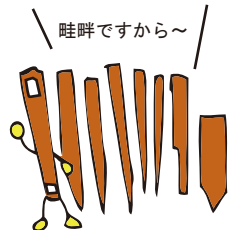
僕ら結構出たね！



ダブル田下駄

量とデカさで稼いだ感じね

杭だし



畦畔の芯材軍団

木製品たち

4. おわりに

調査はこれで終了しますが有東遺跡の範囲は大きく、市商校内にも未発掘の部分が沢山あります。

もしまたいずれ調査が行われる機会があれば、1度しか見ることでできない貴重な機会ですので、ぜひ覗いてみて、新たな発見に期待をよせてみてください。



有東遺跡現地作業員の皆さん及び筆者

調査にご協力くださいましたすべての皆様方へ心より御礼申し上げます。

（文責・イラスト：財団法人静岡県埋蔵文化財調査研究所・常勤嘱託員 長友 信）